

今、問われる「多様な地域づくりコーディネーター」の連携 ～地域共生社会／地域包括ケアの実現に向けた新しいステージへ～



開催概要

わが国は、歴史上また世界でも経験したことがない人口減少・超高齢社会を迎える。国は地域包括ケアシステムの構築等を企図した改正介護保険法を施行、全国一律の基準にもとづいたサービスから地域の実情に応じた多様な主体による様々なサービスを充実し、地域共生社会の実現を目指すことを示した。そして、その実現に向けた施策である生活支援体制整備事業において、各自治体に**生活支援コーディネーター**が配置されることになった。

生活支援コーディネーターは地域の実情に応じた配置が可能とされ、そのコーディネーターを配置する組織や人材も多様な状況が見えてきた。あらたな制度に位置づけられた**生活支援コーディネーター**に求められる役割は、これまで社会福祉協議会がすすめてきた住民主体の地域福祉推進の取り組みや地域包括支援センターによる地域のネットワーク構築などと重なっている。**地域福祉コーディネーター**や**ボランティアコーディネーター**、福祉・医療専門職などがそれぞれ個別に取り組んでいる場面が見られ、連携や協働した取り組みが報告されているものの、役割や機能の整理が不十分なまま混乱と困惑が現場の関係者間で生じている。

そこで、本研究集会では、これまでの地域福祉推進の取り組みを振り返り、地域づくりをすすめる多様なコーディネーターの実践事例から、地域住民との連携、多職種・多機関との協働など、今問われる多様な地域づくりコーディネーターの役割を考察し、地域共生社会／地域包括ケアの実現に向けた新しいステージを展望する。

開催日時 2019年12月14日（土）

13：00～16：30

（12:15～受付開始）

会場 東洋大学白山キャンパス
スカイホール（2号館16階）

東京都文京区白山5-28-20

正門（旧白山通り）よりお入りください

参加費 学会員 500円 一般 1,000円

当日、現金にてお支払いください

主催 日本地域福祉学会関東甲信越静岡部会
研究集会実行委員会



※プログラムや申込方法などの詳細は裏面をご覧ください

プログラム

(1) 挨拶 13:00-13:05

関東甲信越静部会研究集会 実行委員長
加山 弾 (東洋大学 社会学部 社会福祉学科 教授)

(2) 課題提起 13:05-13:15

梅澤 稔 (千代田区社会福祉協議会)

(3) 基調講演 13:15-14:15



「地域づくりをすすめる多様なコーディネーターの役割」

諏訪 徹 氏 (日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授)

【内容】

- ①地域共生社会／地域包括ケアシステムの背景、地域福祉推進の経過を振り返る。
- ②地域共生社会／地域包括ケアシステムの実現のために、コーディネーターに求められる役割。
- ③東京らしい“地域共生社会づくり”のあり方について (東京都社会福祉協議会地域福祉推進協議会の議論をふまえた報告)

[休憩15分]

(4) シンポジウム 14:30-15:35 (20分×3+5分)

- ①前田 雄太 氏 (調布市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域支援担当係長)
 - ②山下 淳 氏 (葉山町社会福祉協議会 はやま住民福祉センター 主幹)
 - ③内田 美穂 氏 (東京都北区桐ケ丘やまぶき荘地域包括支援センター 生活支援コーディネーター)
- モデレーター 梅澤 稔 (千代田区社会福祉協議会)

[論点]

- ・各地区の地域づくりコーディネーターの取り組みから機能していること、課題になっていることの要因は何か。
- ・それぞれの地域づくりコーディネーターの機能や役割の特徴とは何か。
- ・地域共生社会づくり、地域包括ケアシステムの構築のために、コーディネーターの機能を最大限に生かすためにはどのような体制が必要か。

(5) コメント 15:35-15:50

コメンテーター 熊田 博喜 (武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授)
堀 崇樹 (足立区社会福祉協議会)

(6) 質疑応答 15:50-16:25

(7) 挨拶 16:25-16:30

関東甲信越静部会研究集会 副実行委員長
山本 美香 (東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 教授)

参加方法

申 込 申込ページにて受付 (下記URLまたはQRコードよりお申込みください)
<https://ws.formzu.net/dist/S59554993/>

締 切 2019年12月10日 (火)

定 員 100名

対 象 日本地域福祉学会会員、地域包括支援センター、社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センター、生協、農協、NPO、行政等の関係者など



FAX申込 03-3945-7504 ※インターネット環境がない場合この面をFAXで送信してください

フリガナ			該当するものに○をつけてください 学会員 / 一般 500円 / 1,000円
氏 名	姓	名	
所 属			